

デジタル教育

-
1. スマートフォン教室
 2. NoCodeトレーニング
 3. GIGAスクール
 4. 女性活躍(働き方)トレーニング

①第一回スマートフォン教室(2021年12月開催)

参加者67名(ときわ台:65名 中央公民館:2名)

タップ・スワイプなどの初步的な操作方法、Wi-Fiの意味と接続方法、QRコードの読み取り方、とよのんコンシェルジュWEBURL(α版)の案内のほか、画面の自動回転やスリープの設定方法についてレクチャー。後半は豊能町のスマートシティ事業についての説明会とアンケートを実施。どうしてもWEB回答が困難な参加者や所有デバイスによって回答できない場合に備えて紙媒体を用意。紙的回答も可とした。

予定ではリビングラボ(池田泉州銀行跡地)の施設を利用し光風台エリアを中心に実証を行う予定だったが、工事が遅れたため第一回～第三回までの会場を「東ときわ台ショッピングセンター ときわ壱番地」に変更。それに伴い、豊能町東地区が不満をもたないようにという配慮のもと、対象エリアを豊能町全域と変更し、東地区の「中央公民館」でも実施した。ただし東地区は旧村地区であるためか、参加人数はうち2名と少なかった。

COMPACT SMART CITY PLATFORM **豊能町** **Q1** **OSAKA SMARTCITY PARTNERS FORUM**

スマートフォン教室&スマートシティサービス説明会 **参加無料**

対象 豊能町民の方 定員:各回15名
ご自身のスマートフォンをご持参ください。
らくらくポン・かんたんスマートは対応できません。

内容 スマホの基礎、インターネット、Wi-Fiのつなぎ方
豊能アプリの使い方、アンケートに関してなど

日程・会場

中央公民館 大会議室
12/1(水) 午前10時～ / 午後1時～ (2部制)

東ときわ台ショッピングセンター ときわ壱番地 (本屋さんの前の店舗)
12/2(木)、12/3(金)、12/8(水)、12/9(木)、12/10(金)
午前10時～ / 午後1時～ (2部制)
12/11(土) のみ午後2時～

申込方法 受付は裏面をご覧ください。
電話での受付は行いませんのでご注意ください！

お問い合わせ 豊能町 まちづくり創造課
TEL : 072-739-3412

商品券 参加者特典 アンケートに答えて商品券がある！
アンケート回答者に500円分の商品券が抽選で合計3回1500円分あります。

主催:一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会 共催: 豊能町
協力:一般社団法人といのいねい、特定非営利活動法人 Code for Osaka、大阪スマートシティパートナーズフォーラム、株式会社OZ1



12月3日（金）午後枠にて、NTTドコモ関西支社 法人営業部 ビジネスデザイン担当部長の川崎さま登壇

②第二回スマホ教室(2022年1月開催)

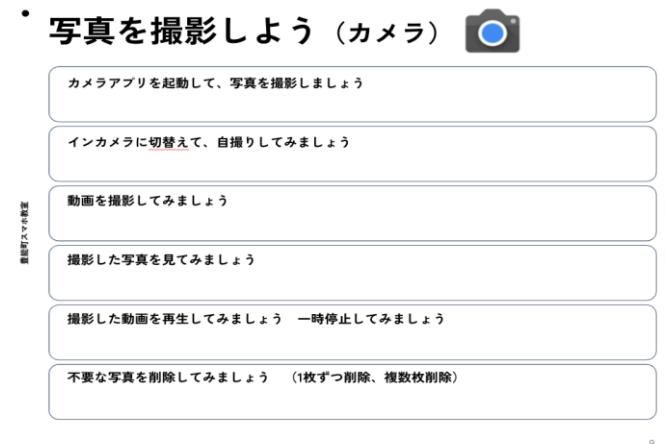
参加者113名(ときわ台:109名 中央公民館:4名)

スマートバンドの配布と初期設定をサポート。教室にてスマートバンドを109名に配布完了。多人数同時のテザリング作業が困難だったため「もっとスマホを楽しもう」という名目で、写真やYouTubeサービス、電車の乗り換え、グーグルアシスタント(siri)の楽しみ方についての講義も並行で行なった。後半は豊能町のスマートシティ事業についての説明会、各企業による登壇タイム、アンケートを行なった。

町民にとってはまだまだ「スマートシティ事業」が周知されていない時期だったこともあり、各企業が豊能町まで足を運び町に合ったサービスの提供と開発についてプレゼンいただくことで、豊能町民である参加者・スタッフともに安心へつながった。

『企業登壇スケジュール』

1月12日(水)午前枠:10時-12時／午後枠:13時-15時	ドコモ、三井住友海上
1月14日(金)午前枠:10時-12時／午後枠:13時-15時	NECネッツエスアイ(中央公民館:東地区)
1月19日(水)午前枠:10時-12時／午後枠:13時-15時	関西電力(オンライン)
1月20日(木)午前枠:10時-12時／午後枠:13時-15時	OZ1(オンライン)
1月21日(金)午前枠:10時-12時／午後枠:13時-15時	NECネッツエスアイ
1月22日(土)午後枠:14時-16時 ※午前はよろづ相談室	OZ1(オンライン)



9



主催:一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会
協力:大阪スマートシティパートナーズフォーラム 株式会社 OZ1/一般社団法人よのていねい/豊能町



③第三回スマホ教室(2022年2月開催)

参加者94名(ときわ台:87名 中央公民館:7名)

とよのんコンシェルジュWEBURL(β版)を案内。アカウント登録をサポートした。今後どのようなサービスが実装予定かをスライドで説明。DigitalPlatformer株式会社のデモ機を借り、6月から運用予定のキャッシュレス決済を体験。地元のパン屋「たるていーぬ」に協力いただき、よりリアルな実際の買い物シーンを想定した体験会を実施した。

後半にスマホ教室として、意外と知らないスマホのマークや専門用語についての解説を行なった。

第一回スマホ教室の際には2名だった東地区での開催は、回数を重ねるごとに参加者が増えていった。東地区では例年参加者が集まらないと聞いていたが、コロナ禍で敏感な時期であったにも関わらず参加した町民達の意欲を実感。継続を検討し、さらに活発化させたい。

《企業登壇スケジュール》

2/16(水)午前・午後／三井住友海上様【現地参加】

2/18(金)午前・午後／NECネットエスアイ様【現地参加】

2/26(土)午後のみ／NTTドコモ様【現地参加】



キャッシュレス決済を体験してみよう

メリット

- スマホだけでお買い物が可能。[お財布を持ち歩く必要がない](#)
- 紙の商品券はお釣りが出ないが、デジタル商品券なら一円単位で利用できる
- 豊能町独自のポイント**も将来的にデジタル通貨と連携予定
- ポイントを普段のお買い物に利用できる**
- このデジタル通貨を利用して、様々な行政手続き、税金の支払い、給付金の受け取りなどができるようになる予定

今年6月頃から、
豊能町で運用開始予定



意外と知らない スマホのコレってなに？

スマホのマーク

皆さんは、左のマークを見たら、そこに何があると思いますか？

そうです。「トイレ」ですね。

このように、スマホをはじめとするコンピュータの世界でも、

「このマークは○○を表す」と、決まっているものがあります。

スマホで良く使われるマークの意味を知ると、苦手だったスマホが、
ちょっと身近に使いやすくなりますよ



④よろず相談所…

毎週土曜日の午前9時30分から正午まで(2021年12月25日からスタート)

毎週月曜日の午前9時30分から正午まで(2022年2月14日からスタート)

場所は「東ときわ台ショッピングセンター ときわ壱番地」

平均して毎回10名前後の来場者、多い時は2時間半で40名来場(スマートバンド配布時)。

当初はスマホの分からないこと、スマートシティサービスに関する質問を受付るための「よろず相談所」だったが、スマホ教室の時間内で触れられなかつたことや、おうちで分からなくなってしまった時はよろず相談所へ…とスタッフ達の受け皿としてもよろず相談所が活躍した。

教える側も教わる側も同じ町民同士であることから、町で出くわす・家を知っている等で時間外対応を求められてしまう場合があり、スタッフを守るために逃げ道としても有効。

また、スマートバンドの配布協力と初期設定サポートも140台分担当。とよのんコンシェルジュのログイン不備やアカウント新規登録のサポートを行っている。

良くも悪くも町内からの評価を直接浴びる立場にあるので、企業側の抜け漏れの部分の対応や案内に困ることが多々あった。企業と密に連絡を取り合える環境が必要。



スマートシティよろず相談 同意書

年 月 日

相談員は、悪意のある操作をしません。

相談員名: _____

相談員の過失による誤操作について、相談者は責任を問いません。

相談者名: _____

⑤コミュニティ支援

教師と生徒が完全分離された従来の教室ではなく、お互い教え合うような風土や生徒だった方がゆくゆくは教師として登壇することで、教室そのものがコミュニティとして活発化し醸成してゆくような形態を目指す。

そのメリットを実感してもらうため、スマホ教室では席配置や自己紹介などを交えることで、できるだけ交流を深めやすい雰囲気づくりを徹底した上で、教室の最後で教え合いサークル加入を案内した。

参加者と同世代の60歳～70歳もアシスタントスタッフとして参加。その姿を見て参加者も「自分も教える側に立てるんだ」という認識につながればと願う。

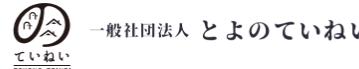
今期では、希望者の収集と名簿づくりに留まった。2月26日時点で162名の登録者数。次期からは、参加者の教わりたいことを主軸においた勉強会やいつでも初級編を受けることができるプログラム、質疑応答等、声を聴きながら柔軟に企画したい。

また、スマホ教室を過去受講された方から「次回からは直接案内が届いて欲しい」という要望あり。連絡ツールなどの整備も行いながらコミュニティ醸成へつなげたい。

スマホ活用・教えあいサークル 加入用紙

* お名前（漢字）
ふりがな
* 携帯番号
* メールアドレス

ショートメッセージかメールでご連絡いたします。



⑥チラシ配布

スマートシティ事業に関する紹介とアンケート回答と「とよのんコンシェルジュ」体験を促す、A4両面チラシを2021年12月18日よりに豊能町全戸配布(6,500部)した。

アンケートは光風台住民が対象予定だったが、東地区の不満へつながらないよう全戸配布とした。



第一回アンケート

Q28:スマートシティなんでも相談室(スマホがわからない、スマートシティサービスの使い方など色々と相談に乗ります)

利用したい…59.6%(240名回答のうち143名)

利用しない…15.4%(240名回答のうち37名)

わからない…20.0%(240名回答のうち48名)

未回答…5.0%(240名回答のうち12名)

第二回アンケート

Q8:教育(スマホ教室、学校ツールなど)

必要…80.5%(185名回答のうち136名)

不要…18.9%(185名回答のうち136名)

未回答…0.5%(185名回答のうち1名)

Q16:スマホ教室の「難易度」はいかがですか？

わかりやすい…73.5%(185名回答のうち136名)

難しい…19.5%(185名回答のうち36名)

未回答…5.0%(185名回答のうち13名)

人数にばらつきあり)

Q17:スマホやスマートシティ関連のことで困ったら聞ける場所「よろず相談室」は必要ですか？

欲しい…86.5%(185名回答のうち160名)

いらない…8.6%(185名回答のうち16名)

未回答…4.9%(185名回答のうち9名)

第三回アンケート

Q16:スマホ教室を受講したい

利用したい…86.3%(80名回答のうち69名)

利用しない…13.8%(80名回答のうち11名)

Q17:スマホの使い方を知りたい

利用したい…85.0%(80名回答のうち68名)

利用しない…15.0%(80名回答のうち12名)

よろず相談所は、回数を重ねるごとに「利用したい」といった期待度が26.9%上昇、86.5%の人が「欲しい」と答えた。アンケートの大半がスマホ教室にて回答していることも起因しているが、スマホ教室の需要は常に80%を越えており、最終回では5.8%上昇した。

(ただし各回の回答にはらつきあり)

今年度の取組み目標

横展開可能なプラットフォームを作っていく

豊能町と同じような少子高齢化で悩む自治体でも横展開可能な、誰一人取り残されない為のプラットフォームづくり。

まちの声や温度感をしっかり届ける仕組み作り

CSPFCと地域住民とを繋ぐ、弊社町企業の立ち位置を活用し、まちの声や温度感をしっかり届ける仕組み作り。良い意見だけでなく反対意見、改善に関する要望を町民からヒアリング。しっかりCSPFCへ伝えることで、より町民の思いに沿った「住民のQOLを底上げする事業」として整形のお手伝いを弊社が担う。

- 独自のアンケートを用意
- アンケート結果を町民に見える形で発信(SNSなど)
- 結果を踏まえ改善された部分を町民に見える形で発信(SNSなど)

地域住民からの信頼関係を増幅させ続ける工夫

本事業は、町役場と弊社が矢面に立つことが多いため、地域からの信用にも関わる重大な事業だと考えます。正しく情報を伝達することで、町内外のCSPFC側と地域住民との信頼関係を強化。

- 「豊能町住民のQOLを上げるために」の事業であることを再伝達
- よろず相談所の開設日を増やし、協力者を増やす
- 各企業様が町民と交流し、意見交換できる機会をセッティング

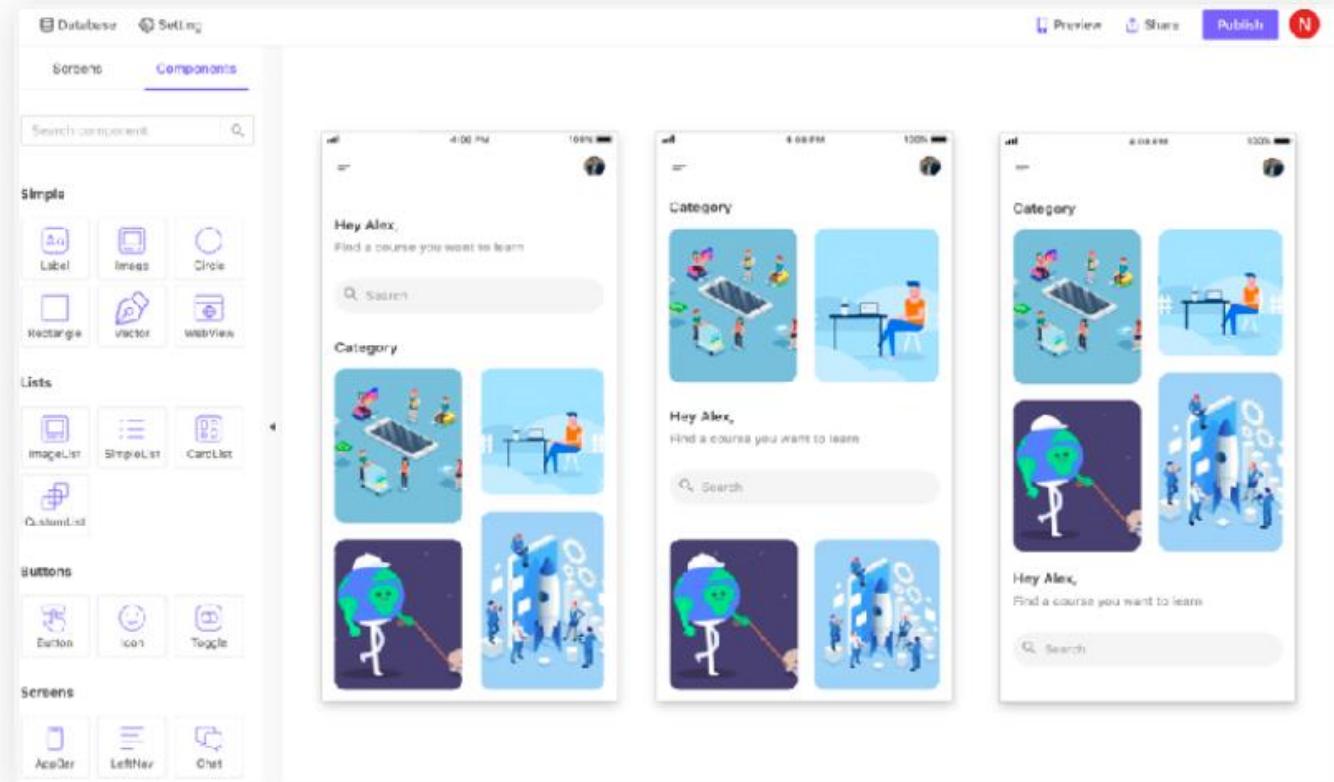
町の立役者たちとのマッチング、共創の広がり

CSPFC内の各企業様提供のサービスと相性がよい、または広がりの可能性がある町内の企業や団体、店舗等とマッチング。豊能町の今までのまちづくり事業で培った資産を活かすことで、より地元に根ざした強力な共創関係が発展するよう働きかけを行う。

ノーコードとは

What is no code ?

パワーポイント感覚でアプリケーションを開発可能



IT活用人材を育成するため、豊能町にてノーコードプラットフォームClickのトレーニングを行い、ノーコード人材の育成を図った。
トレーニング提供にあたり、平日組と土日組それぞれに1週1回x3回のトレーニングを実施した。

以下、関連資料を別添とします。

・トレーニング用の教材

Method_of_operation.pdf
toyonocho_comment.pdf
toyonocho_Day1.pdf
toyonocho_Day2.pdf
toyonocho_Day3.pdf

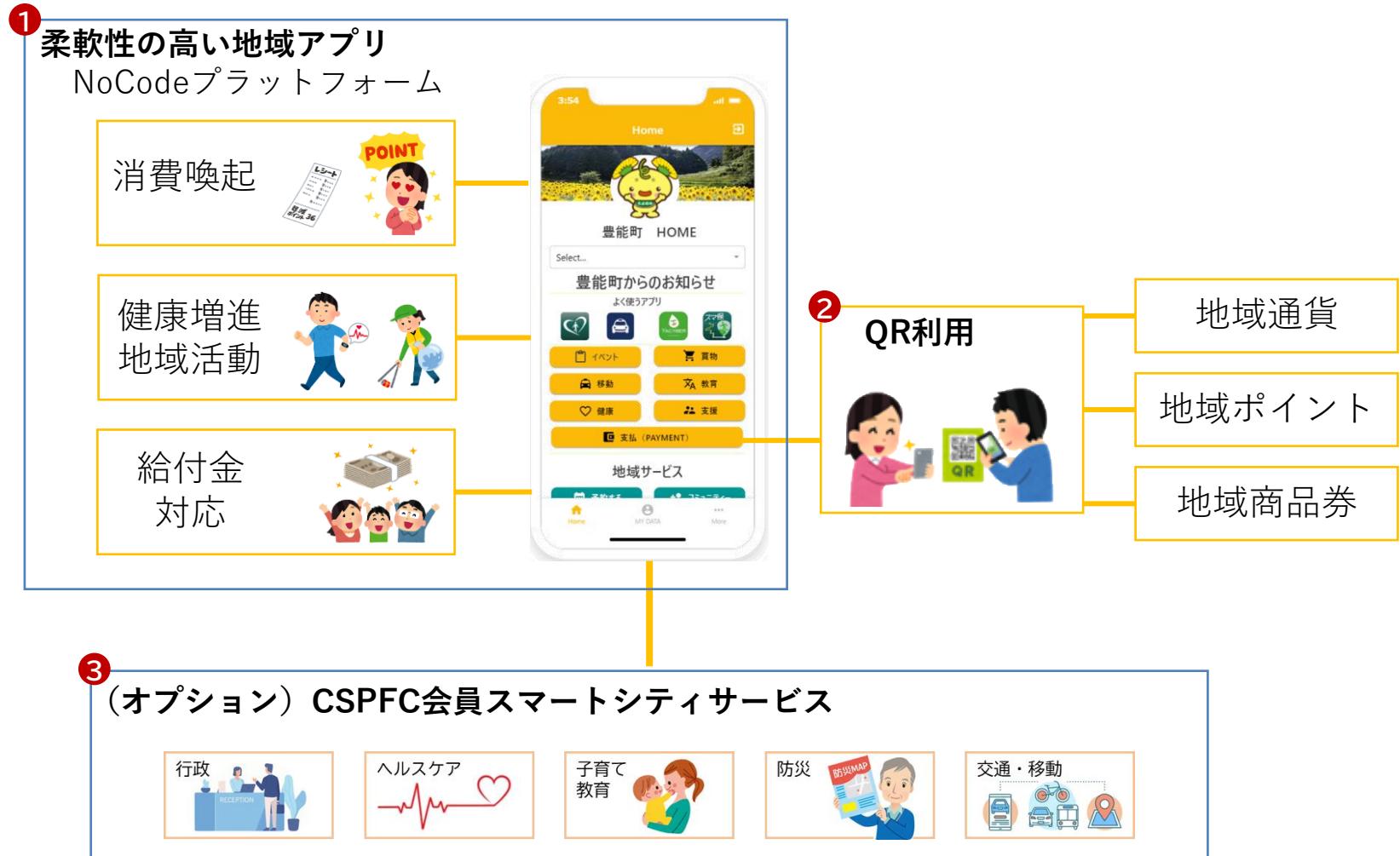


- 1/23(日) 13:00~15:00 第1回ノーコード教室(父、子連れ+指定参加者)
1/24(月) 10:00~12:00 第1回ノーコード教室(主婦層+指定参加者)
1/30(日) 13:00~15:00 第2回ノーコード教室(父、子連れ+指定参加者)
1/31(月) 10:00~12:00 第2回ノーコード教室(主婦層+指定参加者)
2/6(日) 13:00~15:00 第3回ノーコード教室(父、子連れ+指定参加者)
2/7(月) 10:00~12:00 第3回ノーコード教室(主婦層+指定参加者)



今年度はOSPF+CSPFC共催でNoCodeトレーニングの拡充

地域循環経済率や地域活性化に コンパクトスマートシティプラットフォーム（CSPF）を提供



柔軟性の高い地域アプリ

①

柔軟性の高い地域アプリ NoCodeプラットフォーム



NoCodeの活用

- ・プログラム知識なしでサービスを作れる
- ・同一NoCodeで作られるアプリは転写が可能
(基本機能を引き継ぎ、自治体ごとの
サービスに展開が容易)

例えば



- ・とよのんウォーキング（豊能町所有）を豊能町が利用許可を出せば基本機能を他自治体で活用が可能



一度作ったアプリは、基本機能を簡単に地域アプリ（UAX-LINK）
のサービスとして横展開が可能

柔軟性の高い地域アプリ

大阪スマートシティパートナーズフォーラム（OSPF）と
コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会（CSPFC）
でのNoCodeコラボレーションを検討

ボランティア
ポイント

観光

環境ポイント

プレミアム
商品券

健康

ボランティア活動参加でポイント付与

旅行者呼び込みのため、スタンプラリーのような機能を搭載

省エネ製品購入等、環境にやさしい行動にポイント付与

特定の店舗のみで利用可能なプレミアム商品券の電子化

健康診断受診や歩数に連動したポイント付与

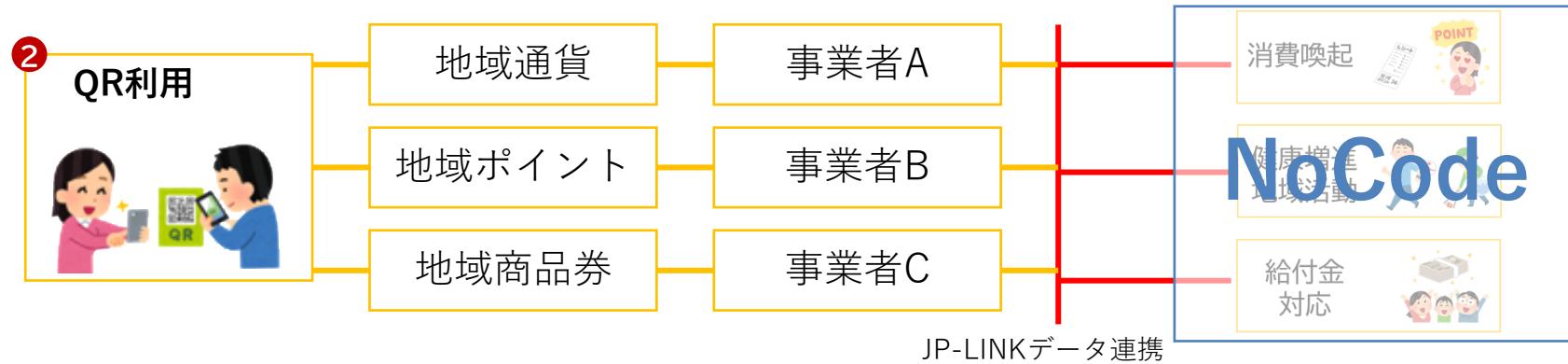


例：NoCodeコンテスト

OSPFで自治体課題（カテゴリ）に対してコンテスト
自治体による審査をして、より自治体で使えるサービスを構築
(OSPF参加自治体が活用可能に)

QRを活用した決済サービス

CSPFCとしては、Digital Platformer社の地域通貨・ポイントプラットフォームを搭載し、各サービスの決済に活用を進めております。



既に利用している地域通貨事業者にはJP-LINKをインストールすると
他社事業者とデータ共有は可能。（相互運用はこれから検討になります）

住民の生活圏は市町村で分かれていないので、相互運用は非常に重要



CSPFは、「どこの」「だれが」「いつ」などの管理が可能

義務教育への取組み

21

